



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2022.12月号

お知らせ

設備工事および年末年始のため、**下記期間休館**します

令和4年12月13日(火)～令和5年1月3日(火)

12月28日(水)まで職員は出勤していますので(月曜日は除く)、電話でのお問い合わせ等は対応可能です。

休館中は……



YouTube HIRAHAKU チャンネル をお楽しみください!



博物館モノ語り



HIRAHAKU チャンネル



「HIRAHAKU チャンネル」の新しいコンテンツ、「博物館モノ語り」では、平塚市博物館が収蔵している資料1点にスポットを当て、その魅力を各担当学芸員が紹介しています。現在公開中の第1回は1階常設展示室で展示している「GX-10T」、第2回は2階常設展示室で展示している「万祝^{まいわい}」。普段常設展で展示されている資料もあれば、収蔵庫で眠っている資料まで、紹介される資料はさまざま!毎月1回、おおよそ最終週の木曜日に公開をしています。

そのほかにも、クライマックスを迎える大河ドラマを平塚の視点から楽しむ「鎌倉殿と平塚の七人」や、「5分でわかる平塚学入門」など、今まで投稿した動画も一緒にお楽しみください!

すべて

関連動画

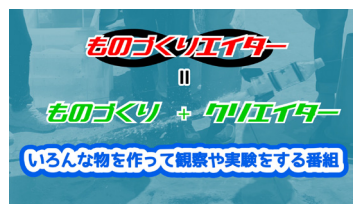
ライブ



だいたい3分でわかる88星座図鑑
HIRAHAKU チャンネル



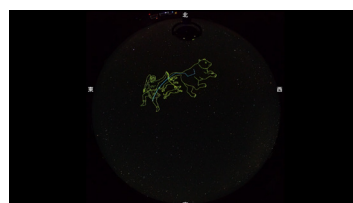
鎌倉殿と平塚の七人
HIRAHAKU チャンネル



ものづくりエイト
HIRAHAKU チャンネル



5分でわかる平塚学入門
HIRAHAKU チャンネル



おうちでプラネタリウム
HIRAHAKU チャンネル

まだ楽しめる!秋期特別展関連行事

各行事申込みは、往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入)、または博物館ホームページの応募フォームからお申込みください(右記のQRコードもご利用ください)。

締切は、往復はがきの場合は当日消印有効、フォームの場合は同日中です。

特別展展示解説

内容: 担当学芸員が特別展示を案内します。

日時: 1月5日(木) 16時～16時40分

場所: 特別展示室 定員: 20名(1申込4名まで)。

締切: 12月22日(木)

体験学習「星になった民具を使ってみよう」

内容: 特別展で展示している羽子板など、星になった民具を実際に使ってみます。

日時: 1月6日(金) 13時30分～15時

場所: 博物館講堂または屋外

定員: 30名(1申込4名まで)。 締切: 12月16日(金)

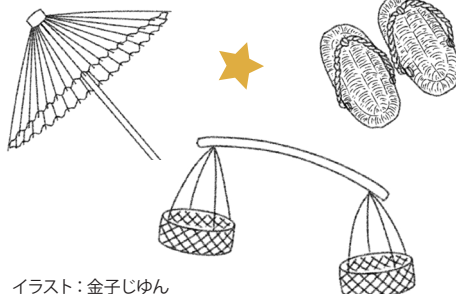


イラスト: 金子じゅん



星を見る会 「火星と冬の星を見よう」

12月1日に地球に近づいた火星はまだまだ明るく見えます。とはいえ、どんどん遠ざかっていってしまうので、来年1月がくらいが望遠鏡で大きく見えるラストチャンス! 豪華絢爛な冬の星たちと合わせて観察してみましょう。

■日時: 2023年1月13日(金) 午後7時～8時30分 ■会場: 博物館屋上

■定員: 20組(1組4人まで、応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う)

■申込: 往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入)、または博物館ホームページの応募フォームから申込(右のQRコードもご利用ください)。

■締切: 12月24日(土) 当日消印有効 フォームの場合は同日中



学芸員のミニコラム

神様を迎えるお正月の準備

12月になりました。現在では12月28日前後が一般的に仕事納め、仕事によっては12月31日に仕事納めをし、翌日1月1日に仕事始めの場合もあるでしょう。そうとなるとお正月の準備をする時間もなく、玄関飾りなどもスーパーで販売しているものを飾る家が増えているのではないのでしょうか。お正月は、歳神様を迎える大事な期間であったため、年末から各種の準備が行われました。

かつて土間のかまどで煮炊きをしていた頃は、^{すすはら}煤払いといって煙で煤けた天井を長い笹竹で払いました。神様がお正月に来られる前に煤はもちろん、家の中の^{けが}穢れも払うのです。



平塚八幡宮の歳の市



歳神棚

さて、煤払いをして家がきれいになり年の瀬も迫ると、各地に正月用品を売る歳の市がたちます。ここで、ダルマやお飾りに付ける^{だいた}橙、正月用の魚などをそろえました。また、餅つきは12月27日か28日、30日に行い、門松とお飾りも28日か30日に作ってその日のうちに飾りました。クモチを嫌って29日に餅つきは行われず、31日は一夜搗き、一夜飾りといって怠られていました。

歳神様を招く目印である門松を門口にたて、不浄・邪悪なものが家に入らないように注連飾りや注連縄をして歳神棚を設えます。昔は、お正月になると皆がいつせいに一つ年を取りました。私たちに年を授けてくれるのが歳神様です。新たな一年を生きる活力・生命力を与えてくれるのです。

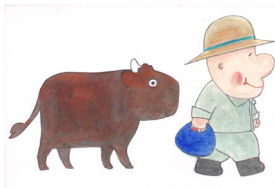
★12月・1月のプラネタリウム★

★幼児向け投影:ほしみる おじさん

ーみぢかなうちゅうのおはなしー

制作: Astrolab / 原作: もりなお / 原作監修: 縣秀彦 (国立天文台)

投影日: 土曜日 午前11時～



☆一般向け投影:日本の星を見上げて

～星の和名の春夏秋冬～

私たちになじみがあるのはさそり座やオリオン座、アンタレスやベテルギウスといった西洋由来の星座です。が、日本人も昔から星を愛で、星ならびや個々の星に名前をつけていました。そんな日本由来の星名を紹介します。

投影日: 土曜日 午後2時～

日曜日・1月4日(水)・1月5日(木) 午前11時～、午後2時～

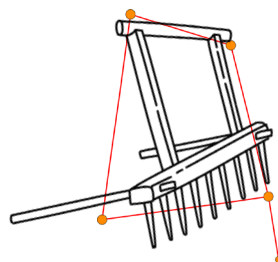
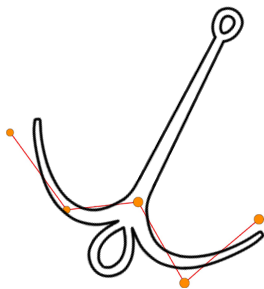
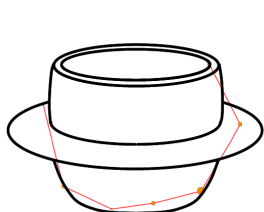


イラスト: 金子じゅん

◆特別投影:星空散歩

「星空散歩」は50分間すべて星空についてお話をする投影です。12月の回では12月に見られる星座のほか地球接近直後で見頃を迎えている火星について、1月の回では1月に見られる星座のほか金星と土星の接近や冬の風物詩カノープスについて紹介します。

八王子さんオリジナルの星座絵が登場。缶バッジもプレゼント!

投影日: 12月3日(土) 午後3時30分～
1月8日(日) 午後3時30分～



◆特別投影:星空の古代史6「古墳に描かれた星空」

日本の古墳には、その石室内部に星空の図が描かれているものはいくつか発見されています。そこにはいったいどのような星が描かれているのか?そもそも古墳とは何か?考古担当の学芸員とのコラボレーション企画です。

投影日: 1月14日(土) 午後3時30分～



復元された高松塚古墳
同古墳の石室の天井には星宿図が発見されている

・定員: 50名/自由席(なるべくグループ間は間隔を開けてお座りください)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては定員を減らす可能性があります

・投影日時: 右上の表を参照 (投影は午前11時～と午後2時～/特別投影は午後3時30分～) 各回50分間

・観覧料: 200円 (18歳未満65歳以上の方は無料/65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)

午前11時の回、午後2時の回、特別投影の整理券を当日午前9時より受付で配布(代表者のみでも可、5枚まで)

午前11時の回は午前10時15分から、午後2時の回と特別投影(午後3時30分の回)は午後1時15分から観覧券を販売。

・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始15分前までに3階にお越しください。

・番組の内容は急遽変更になる場合があります

・入場前に連絡先の記入と検温を行っていただきます(体温が37.5℃以上の方とそのお連れ様はご入場いただけません)

・マスクの着用をお願いします 投影開始後のご入場、途中退出はできません

1 木	展示解説ボランティアの会	講堂	
2 金	○星を見る会	屋上	
	古文書講読会	講堂	
3 土	○お飾りを作ろう	講堂	
	◆星空散歩	プラネタリウム	☆
	天体観察会 流星分科会	科学教室	
4 日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	
	天体観察会 定例会	講堂	☆
5 月	休館		
6 火	聞き書きの会	科学教室	
7 水	民俗探訪会	講堂	
8 木	古代生活実験室	科学教室	
	石仏を調べる会	講堂	
9 金	古文書講読会	講堂	
	地球科学野外ゼミ	科学教室	
10 土	東国史跡踏査団	野外	☆
	天体観察会太陽分科会初心者コース	講堂	
11 日	○秋期特別展展示解説会	特別展示室	
	◎ろばたばなし	相模の家	☆
	地球科学野外ゼミ	講堂	
	祭りばやし研究会	科学教室	
12 月	休館		
13 火			
14 水			
15 木			
16 金			
17 土			
18 日			
19 月			
20 火			
21 水			
22 木			
23 金			
24 土			
25 日			
26 月			
27 火			
28 水			
29 木	年末休館		
30 金	年末休館		
31 土	年末休館		

工事・年末年始休館（1月3日まで）

【来館のご案内】

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 入館料：無料
 プラネタリウム観覧料：200円（減免などの詳細は3頁参照）
 休館日：月曜日（祝日の場合は火曜日に振り替え）
 月末日（特別展開催期間や土・日曜日は開館）
 年末年始・くん蒸・点検等
 その他、予告なく休館する場合もございます。
 ご了承ください。

1 日	年始休館		
2 月	年始休館		
3 火	年始休館		
4 水			☆
5 木	○秋期特別展展示解説会	特別展示室	☆
	展示解説ボランティアの会	講堂	
6 金	○体験学習「星になった民具を使ってみよう」	講堂、屋外	
	古文書講読会	講堂	
7 土	東国史跡踏査団	野外	☆
	天体観察会 流星分科会	講堂	
8 日	◆星空散歩	プラネタリウム	☆
9 月			
10 火	休館		
11 水			
12 木	石仏を調べる会	講堂	
	古代生活実験室	科学教室	
13 金	○星を見る会	屋上	
	古文書講読会	講堂	
14 土	祭りばやし研究会	科学教室	☆
	◆星空の古代史6	プラネタリウム	
15 日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆
	天体観察会 定例会	講堂	
16 月	休館		
17 火	聞き書きの会	科学教室	
18 水	裏打ちの会	科学教室	
	民俗探訪会	講堂	
19 木	展示解説ボランティアの会	講堂	
20 金	古文書講読会	講堂	
21 土	天体観察会 定例会（予備日）	講堂	☆
	○郷土史入門講座	講堂	
22 日	◎ろばたばなし	相模の家	☆
	地球科学野外ゼミ	講堂	
	天体観察会 天文学分科会	講堂	
23 月	休館		
24 火	天体観察会 太陽分科会	講堂	
25 水			
26 木	石仏を調べる会	講堂	
27 金	古文書講読会	講堂	
	○相模川流域ジオツアー	野外	
28 土	地域史研究ゼミ	特別研究室	☆
	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
29 日	生き物ズームプロジェクト	野外	☆
30 月	休館		
31 火	月末休館		

12月の休館日：5日(月)、12日(月)、
13日(火)～31日(土)

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由
 ◆：プラネタリウム特別投影 無印：年間会員制 プ：プラネタリウム一般投影
 特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

平塚市のLINE、平塚市博物館のTwitterでも情報を随時発信しています。友達登録、フォローをお願いします。
 LINE：平塚市公式 LINE (@hirsakacity) / Twitter：平塚市博物館【公式】 (@hirahaku_)

皆様のお願い

◎今後の状況により、開館日や行事の予定が変更になる場合があります。
 ◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**マスク着用**のご協力をお願いします。
 ◎入館の際は、手指の消毒にご協力ください。（消毒用アルコールを入口に設置しております）
 ◎展示室内では、大声の会話をお控えいただき、**会話をされる際は必ずマスクを着用**してください。
 ◎展示物にはお手を触れないようお願いします。
 ◎以下のような方はご来館をお控えください
 ・咳や37.5℃以上の発熱など、風邪のような症状のある方、または当該者と濃厚接触のある方
 ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、または当該居住者との濃厚接触がある方
 ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方
 ご協力お願いいたします。

あなたと博物館 50巻9号 通巻551号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ <https://www.hirahaku.jp/>

